



天気予報泣かせの季節ですね。いつものことですが、入梅宣言が
ついています。今年度最初の野の花館だよりをお届けいたします。野
子ども達から頭をへし折られママゴトの材料になっています。ヒメ
競い合っているようです。

多 春のコンサートでは藤さんの「童神」演奏中に左の写真のように
出され、野の花館ならではの演出が好評でした。

バングラの川原さんから先日イラクの凶弾に命を奪われた橋田さ
ホットな情報満載の野の花館だよりを今年もよろしくご支援くださ

今年度の夏・平和を考える集いは子ども達に何とか戦争の現実感
るといわれる昭和19年の「対馬丸」の事件を描いたアニメ映画を
このような作品の上映の機会はほとんどありません。大人のひと

野の花館 平和を考える集い 2004

「対馬丸」野外上映会 あなたは、あの「対馬丸」を知っていますか？

昭和19年、沖縄は戦場になろうとしていた。船は1,661名の命を乗せて出港した……。

かいせつ

昭和19年7月、沖縄各地に続々と兵隊が送り込まれ、戦火が身近に迫っていた。

映画の素材「対馬丸事件」はそうした8月22日夜10時12分、沖縄から九州に向かう学童疎開船の1隻が米潜水艦の魚雷をうけ、鹿児島南方海上で沈没。船には、学童を含む1,661人が乗っていたが、そのほとんどの命が暗い波間に消えていった。生存者は156人で、そのうち学童はわずか59人……戦史に残る「対馬丸の悲劇」である。対馬丸の遭難は、国策の名の下に、国や軍の都合だけで何も知らない幼い学童達が死んでいったところに大きな悲劇がある。そして、無惨にも、多くの県民を戦争にまきこんだ沖縄戦の序曲として忘れることの出来ないことである。

おじいちゃん、おばあちゃんが子どものころ、ほんとうにあったお話！として一人でも多くのこどもたちに見てほしい……とおもいます。

対馬丸について情報をお持ちの方、野の花館まで御一報ください。当日資料としてまとめます。

上映会は7月16日(金)19:00~20:50 野外で行います。防虫対策をお願いします。

参加入場券発売中・大人800円・子ども(小学生~高校生)500円・

おやこ券1200円

19:00~19:25 16mmカラ - アニメーション映画「ぼくとときどきぶた」上映

【対馬丸】

竣工1914年12月

総トン数: 6754 ト

全長: 136 m

速度: 12 ノット



春を食べる会(ちらし・煮閉め・白和えなど)

藤あけみコンサ - ト・・・3日(約120名)

野外での会場作りは久しぶり・・・雨が降らず幸いでした。少し寒くて帰られた方もあり、事前に野外だとお知らせすべきでした。ごめんなさい。



最後はみんなで踊り、盛り上がりました。お疲れ様。コンサ - トの感想をいただきました。

* 鹿児島から6人でやってきました。60代になっても夢を失いたくない仲間達です。周りの景色を眺めながら野の花を摘みました。それに夕食に野の花のてんぷらが出て感動でした。古い民家に懐かしさを感じたし、すてきな田舎暮らしをされている皆さんに拍手です。子育てをされている若いお母さん達に心より応援したいです。藤さんの素晴らしいコンサ - トを遠くこの地で聴き感激しております。今日は本当に有難うございました。

鹿

児島市 Y・F 61歳

* 雑事に追われ砂漠化した心を水あふるる森にしてください感謝です。

又元気ががんばれます。町内 A・M 62歳

* 自然の中で食事もとてもおいしかったです。藤さんのコンサートも最高でした。

心がゆったり一日たのしかったです。

ありがとうございました。ラジオ深夜便以来のファンになりこうして又歌声を

きけて幸せです。今後共、頑張って下さい。鹿児島

市 R・Y 61歳

* 昨夜は大変お疲れ様でした。いつも思います。すごい、すごいなあと。藤あけみさんのコンサート、すばらしかったです。

身体のすみずみまで染み入る感じです。胸の奥に響いて

いきます。唄もトークもとてもすばらしかったです。藤あけみさんに熱烈エールを送りたいと思います。やさしさと強さをいただき、

じいちゃんの介護もなんとかやれそうです。“いたどり”のてんぷらもとても

美味しかったです。ごちそう様でした。

絵本の読み聞かせを教えて欲しいのですが・

よろしくお願い致します 木城町 K・N 55

歳

遊びとお店・・・ 4日(約120名)

午前中は雨のため館内でフリーマーケット、太鼓演奏(鼓遊)で賑わいました。お昼過ぎ、MRT ラジオで中継される頃は雨も上がってみんなで楽しみました。



フリー

マーケット

太鼓

演奏(鼓遊)

映画「石井のおとうさんありがとう」

野の花館ロケ・・・4月11日・5月1日

高鍋町出身で、明治、大正期に孤児救済に尽力し、「孤児の父」と呼ばれた石井十次。その生涯を題材にした映画

「石井のおとうさんありがとう」(山野の花館での撮影が2回行われまし

初回：十次の演説に耳を傾ける聴トラ出演する人々が友愛社で準備をりました。丸1日の長いロケもなんを超える老若男女が出番を待って、野に身体を休めてこの日はタイムマシン気分でした。その様子を写真でお伝

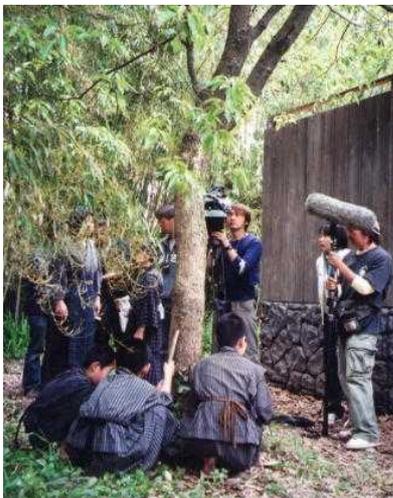
宮崎日日新聞の



待ち合わせ中のエキストラ出演待ち合わせ中に“かっとううれしい花いちもんめ”



八郎が卵を盗みに行くシーン
出番を待つエキストラのみなさん



せ中

全ての撮影を終了した子役たち
見つけて叱られるシーン

特定非営利活動法人野の花館第5回総会終る 5月9日
(日) 14:00~14:55
参加者 18名(書面表決者 14名)で定足数 16 を超え、総会は
成立、金丸智子さんを議長に選び、理事会提案の2議案を承
認し、今年度の子育て支援事業について意見が交わされまし
た。

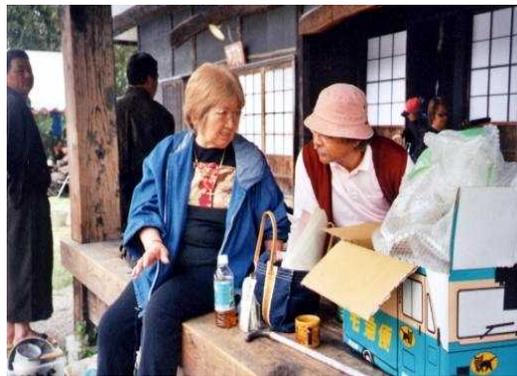


今年度は、
ようかと思いましたが居場所としてのこのよう
な場所は願ってもそう簡単にはないので来てくれる
子がいる限り続けようと話し合いました。託児保育は自主
事業として継続実施し、新規に子育て支援事業として、独
立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、親育ち子育て教
室の開催・子育て支援情報誌の発行・支えあう子育て支援
活動などを行います。ボランティア参加大歓迎です。子ども
時代に還ってみませんか?
参照；【総会資料】事業報告書等

毎週、中の又から卵を届けてくださる中武さんが母上が書
かれたという次の文を届けてくださいました。

趙 国良先生 胡弓の調べ

平成 15 年冬 11 月 2 日、久方振りの曇り空に、天気予報も雨との
事。恵みの雨のほしい毎日でしたので、早くから畑に出て草を焼いて
いたら、娘が大きな声で「宮崎の神武様に行こうや」との事で、身支
度を整え午前 11 時、我が家を後にする。然し木城町に着いた時は、
予想通り雨が降り始め、中ほどの連絡を受ける。せっかく此処まで



打ち合わ

て、感動の連続でした。「二泉映月」は、
中で飢えと寒さにさいなまれ、人にも世の静けさと泉に映る、寒ざむ
とした境地に引き入れる思いでした。
最後は滝廉太郎先生の「荒城の月」でした。日本の代表的な歌曲
のひとつ、大正生れの私には忘れ難い曲の一つです。終っても終っ
てもアンコールの連続で、二回程聞かせて戴きましたが、趙先生と
同行して下さったピアノの米良先生、竹笛や竹オカリナで塩屋先生
の朗読「二十一世紀に生きる君たちへ」の言葉は、心に深く残る感
激でした。

今や世界中の子ども達が、なやみ苦しんでいます。時が許すなら
ば、すべての子ども達に、両親に連れられているんな素晴らしいコン
サートに参加出来て、多くの感銘を受ける事を切望致します。



午後七時を過ぎて、小丸川の上流に住む我が家まで 40 km、離れた道のりを娘と二人、無事故を祈りながら、車の中では今日一日の楽しい思い出を語りながら「いそぶし」や「かぶらばやし」を声高らかに歌いながら、四、五日前の宮日の新聞記事の中の「くれてなお、命の限りせみしくれ」を想像して、八時過ぎには帰宅致しました。好きな言葉です。二度とないチャンスは、其の時にこそ実現したいものです。

中の又 黒木 文代

《子どもの居場所・2004》

ある日の託児ノ トより 5月8日(土)

野の花館に来るとあかねがいました。今日一番です。あかねは、うれしそうに今日もってきたシール手帳をみせてくれました。いつもシールをくれるからと言って今日はあかねがシールをくれました。メモ帳もくれました。9時半頃にしょうきが来ました。しょうきは、みんなが来るまで1人でブロックを組み立てて遊んでいました。あかねもお絵かきをして遊んでいました。10時頃にまっくとたまちゃんが来ました。まっくんはいつもと同じように「まりもこねえーちゃん」と大きな声でよんでくれました。たまちゃんは、あんまりきげんがよくありませんでした。しばらく1人で歩きまわっていました。10時すぎにげんきとこうせいが来ました。しょうきは、げんきとこうせいきたのでよこんでいました。男3人でブロックを使ってロケットや飛行機を作って遊びました。しばらくしてからげんきママともなちゃんが来ました。まっくんは、つみきを使ってドミノのおしをして遊んでいました。今日は、小さい子が中心なのであまりみんなを中心にみるのができませんでした。まっくんは、今日はあんまり自分がかまってもらえないので「おねえちゃんずっとまっくんのとなりにいてー」と言っていました。あかねも2人の赤ちゃんをみて赤ちゃんにもどってしまいました。「おねえちゃんだっこしてー」とだきついてきたり、「おんぶしてー」と言ってきたのでおんぶしてあげました。すこしでしたがあかねは、よこんでいました。たまちゃんは、1人で歩けるのでなかなか目がはなせません。あっちへこっちへとよよろして歩きまわっていました。もなちゃんは、まだ1人ですわることができないので「だっこ」していないといけません。たまちゃんは、もなちゃんをみてとてもニコニコしていました。もなちゃんよりもたまちゃんはおねえさんぶつてもなちゃんを「いい子いい子」していました。たまちゃんもなちゃんにだきつともなちゃんは、びっくりしていました。則松さんと3人でたまちゃんともなちゃんの2人を見たり、小学生のみんなを見たり、交代しながらみんなの様子をみました。げんきとしょうきとこうせいは、用水路に行って“かえる”をつかまえていました。まだ完全に“かえる”になっていないおたまじゃくしをつかまえていました。“かえる”にしぼがはえていました。今日は、11時半頃にお昼の準備をして12時前にみんなでお昼ごはんを食べました。もなちゃんは、お昼前にお母さんと1回お家に帰りました。たまちゃんは、

ウロウロしながらおひるごはんを食べていました。ウイナーを食べては歩いて、ラーメンを食べては歩いていました。いっぱいおひるごはんを食べました。お昼を食べてからは、外に行き遊びました。花をつんだり、かえるをつかまえに行ったりして用水路で遊びました。たまちゃんも用水路で遊びました。たまちゃんは、水遊びが大好きです。まっくとたまちゃんが帰ってからは、雨が降ってきたので部屋の中で遊びました。本をよんだり、絵をかいたりして静かに過ごしました。しょうきは、宿題をがんばってしていました。なかなかすすまずにいましたが…なんとか1人でやっていました。途中であかねとケンカしながらブンブンしながら宿題をする場面もあって少し野の花館で遊んでいきましたが…仲良く遊んでいました。たま野の花館でいっぱい遊びました。た。今日は、いっぱい遊べてよかっ子をみましたが、とても疲れました
□ 万里子



5月22日(土)パネルシアター

毛糸のなぞなぞ遊びの後みんなに絵ハインルをTFつしもらい、'L'にCコテレパシ -」をして遊びました。はじめは、一部だけの参加でしたが例によっていつの間にか、しょうき、げんき、こうきも参加しムキになっていて、笑ってしまいました。絵本「だいすきセレスティア」ミニ人形劇「きいちゃん、ピンクちゃんのなかよし」
「ピコピコテレパシ -」で遊びました。 大山磨佐恵

…子ども達は、田んぼの魚やおたまじゃくしを取っていて、とても楽しそうです。自然と戯れることはとても大切なことだと思います。しばらくしたらパネルシアターが始まるということで、けいこちゃんが呼びに来てくれましたが、みんななかなか野の花館へ帰ろうとしないので困りました。気持はわかるけどこういうときにびしっと言うことを聞かせられるようにならなければ…と思います。パネルシアター - は面白かったです。…境 美穂

《育児だより》*ちなぼん日記* 金丸 智子



4月より毎水曜午前中、どろんこ保育園のリズムに親子で参加をしている。子供の中において刺激を受けるのが良いかも、と思ったからである。(ホントは私の身体がナマってきていた為なのだ。)

毎回それはそれは大興奮で、皆様に多大なる迷惑をおかけしている。又 先日はどろんこにて「初どろん」も体験、どろんとよだれと鼻水のオンパレードで汚なさもここに極めり、という感じだった。5月には無事誕生日を迎え、増々パワーアップ。二足歩行もほぼ安定し、段差もクリアしていく。又 言葉も少しずつ意味を持ち、動物でも目に入るものなら「うわっかあー」らしきことを発する。二人ですごく穏やかな時間。

千夏に優しくなるのに反比例して、上の二人には冷たい私。昔はなめる様にかわいがってたハズなのに…。

自分を上手くコントロールできずに苦悩する日々である。(反省はするのだ。一応は)

珠ちゃんのまき

大山磨佐恵

たまちゃんはこの頃「ヤキモチ」を焼く。



お母さんが他の子を抱っこすれば大さわざ…

先日、野の花館で奈美(長姉、小6)がげんき君の妹、もなちゃんを抱っこしたときのこと、珠代はもなちゃんにバッシン“ ”もなちゃん、生れて

初めての一撃だったかもしれない。あ～ごめんね。

たまよさまの天下は続きそうでコワイ…

たまよの好きな本;「おふるでチャパチャパ」、まつたにみよこ赤ちゃ絵本…童心社刊

「じゃあじゃあ びりびり」 まついのりこ…偕成社刊

毎日あきるほど読まされるが本人にあきる様子はない!

なっちゃん・酸素がとれたよ、の巻

伊藤 美穂子



三月のカテーテル検査で結果が良かったので、酸素がとれた。病院でカテーテ

ル検査の後ベッドに戻ってきた時には、すでに酸素のチューブは、はずされていた。

私としては、最初は嬉しいというより不安だった。夏勢も酸素をつけていいのか何度も聞いてくる。やっぱり、少し不安そうだった。帰宅してから開放感を実感した。出かけたとき、親子で歩調をそろえる必要がない!

外出の時は携帯酸素ポンペを私がキャリアにのせてひっぱり、そのポンペから約1mのチューブ夏勢の鼻に酸素がいくようになっていた。だからどちらかがよそ見したり、いきなりかけ出したり、立ち止まったりするとチューブがピンと張って後ろへひっくり返りそうになったり、お互いにぶつかったり…。子には自由がないし、親は子の動きをことこまかに見ていないといけなかった。外出中は、常に人にジロジロ見られるし、時には“犬みたいにつないで、ひどい親だ”と勘違いされたりする。だから、その対策として、親子ともなるべく、それなりに服に気を使い、気分は女優と子役(笑)で“見て!!”くらい気をはっていた。そういうものがいきなりなくなり外出すれば、夏勢は糸の切れた凧のようにふわふわと動きまわり、私は少し離れたところで時々見てるだけになった。

この三年間、いろいろあって大変だったが、酸素は夏勢の体を強くしてくれる大事なおまもりだった。感謝している。

バングラから

イラクで死んだジャーナリスト

川原一之

イラクで銃撃されて死亡したフリージャーナリスト橋田信介さんは、4年前の4月、バングラデシュの砒素問題を取材し、テレビニュースにして報道してくれた人である。汗びっしょりになって、村の様子や患者の症状を撮影し、アジア砒素ネットワークのスタッフにインタビューをしていたことを思い出す。

ひと晩、語り合った。夜間の高校と大学をでて日本電波ニュース社に就職。ベトナム戦争の終結期を体験。80年代に日本に愛想をつかしてタイのバンコクへ移住。フリーランスのTVディレクターとして、アジアで起こる事件を映像にして日本に送っている人だった。中国とインドというアジア2大文化を比較しながら、日本のあり方について論じた。その日本からバングラデシュという異質な文化圏にきて、どうやって砒素対策に取り組むか、私の悩みをきいてもらった。橋田さんが宇部市の出身で、小学校時代に、わが文学の師上野英信の弟から学んだことがあるとわかったときは、不思議な縁を感じた。

あれから、アフガニスタン、イラクへ、戦争を追って戦場の中の人間を追いつづけていたのだ。一貫した生き方にふさわしい死に悔いはなからう。

《事務局日誌より》

[4月]
[5月]
4 /3 (土) 第10回野の花館まつり
5/1(土) 「石井のおとうさんありがとう」映画ロケ
春を食べる会・春のコンサート参加者 135名
8(土) wam助成支えあう子育て支援活動開始
～4(日) あそびとお店の日参加者数 120名

- 9(日) 第5回 総会5月定例会
 5 (月) 託児保育開始
 15(土) 第1回親育ち子育て教室・竹林で遊ぼう
 11(日) 「石井のおとうさんありがとう」映画ロケ
 18(火) 法務局高鍋出張所へ登記事項変更届提出
 13 (火) 会 計 監 査
 20(木) 共同保育園どろんこ 来館
 23(金) 県税事務所・町税務課免税申請
 21(金) 県生活文化課へ事業報告書提出
 24(土) 第5回 理事会・4月定例会
 22(土) 第2回親育ち子育て教室・パネルシアター
 木花の子育て支援活動を見学
 29(土) 第1回情報誌編集会議
 30(金) 子どもの居場所 親の会(説明会)
 [6月]
 6/3(木) 日向市ボランティア連協・高齢者女性クラブ(26名)来館
 5(土) 第2回支えあう子育て支援活動

野の花館への御入会、御寄附等 感謝します!

塩田幸代、濱崎恵子、田口万里子、橋本智子、遠田辰芳、岡田
 いずみ、境清治、石崎諭、春江、奥津勝洋、西由美子、
 井上清美、草開悦子、岸本桂子、河野哲徳、野田直子、高村和
 子、柿田安岐子、前良子、長友早苗、井出泰子、前弘之、勝山
 袈人、沼上照夫、多賀学英、竹下勇、守部克己、二宮淳祐、橋
 本律子、千竈八重子、藪内志津子、黒木至美、
 池田育子、木下昌子、橋口巳俊、石川弥生、岡田幸子、堤伸子、
 岡部玉恵、安芸逸郎、久保田愛子、川野恭司、
 神野香久子、伊藤美津子、近藤美奈、小森邦子、松田くるみ、
 注連本三穂子、日野原義文、西田守、佐藤慎市、マリ子、長井
 正三郎、岡山勇、則松節男、則松和恵、松井順子、辛島幸子、
 田中明子、芥川仁、丸山曉美、長友君子、榎原理恵子、田中一
 男、五十嵐陽子、向井碩哉、日高京子、吉梅敏子、川野久美

【総会資料;事業報告書等】

井海みどり、峰瑞枝、竹内栄子、大友昭
 板谷千枝子、岡田心平

2004年度分会費、寄附金をよせてくださったみなさまです。
 (順不同、敬称は省略させていただきました)

新年度も会員として活動を支援して頂きますようよろしく
 お願いいたします。

【新刊紹介】

昭和19年に初版が発行された
 中村地平著「河童の遠征」が新訂版として50年の時を経てよみが
 えりました。～宮崎の誇り、宝物を今、21世紀の子ども達に～塩月
 桃甫による装幀とさし絵、並製本(180mm×123mm)定価1,000
 円(税込み) 鈺脈社刊

塾講師・個人教授・子育て日記 内田 博著「寺小屋通信」第
 2巻 学校(教育)が失ったものを回復し、新しい子ども観提示す
 る手づくりの教育実践、ほんものの教育は寺小屋に生きていた!!

内田さんには、2000年9月10日ボランティア養成塾の講師として
 「子育ての愉しみ方」を話していただきました。そのお話もわくのつ
 ています。定価1,680円(税込み) 鈺脈社刊

ご意見ご感想ご質問などお寄せください。

宛先: 特定非営利活動法人 野の花館 〒
 884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋2664
 phone & fax: 0983-23-0701

平成15年度事業報告書

(平成15年4月1日から16年3月31日まで)

特定非営利活動法人 野の花館

1. 事業の成果

当事業年度は日本たばこ産業K・Kと子どもゆめ基金の助成を受け、アーティスト、若者、地域の大人たちの大きな協力を得ながら、地域の文化・芸術振興、人権擁護・平和推進、子どもの健全育成と社会教育推進、生活文化継承、等々別紙4に示す諸活動を行い、受益者から活動に対する多くの共感を得た。

とりわけ、昨年度に引き続き、当法人施設野の花館を土曜日の終日及び登校日放課後の子どもたちへの開放を実施し、高鍋東小学校区域においては、行政の取り組みだけでは満たされない親子もあり、障害児や途中転入者を受け入れ、地域住民との交流の機会も更に増し、子どもの健全育成に寄与することが出来た。

2. 事業内容

(1) 野の花館子どものための舞台公演 春夏秋冬2003:

当初、日本芸術文化振興会助成が内定していたが、諸事情によりプログラムの変更を余儀なくされ助成は辞退した。しかし、J T助成で補うことができ、4回とも充実した舞台を取り組んだ。

「絵本つみき」他・「チェルノヴィリの祈り」・「胡弓コンサート」・「みんなの人形劇場」と4作品とも野の花館ならではの味を充分活かして好評を得た。

(2) 野の花館読書活動2003: H15年度子どもゆめ基金助成 子どもの読書活動助成

生活の中から読書の時間が減少し、子供たちの本離れが心配されている。野の花館では、野の花文庫の財産を生かし・ゆめ基金の助成を機にフォーラムとよみきかせ活動に取り組んだ。継続は力・・・始めの頃はなかなか集中出来なかった子ども今ではしっかり聞けるようになった。

絵本フォーラム・子どもの本のつどい In 野の花館・・・H15.6.22

野の花館 よみきかせ活動・・・H15.4.5～H16.2.28

以上の活動を小冊子にまとめ県内公共図書館他読み聞かせグループ等に配布。(200冊)

(まとめの小冊子参照)

(3)「新世紀の神楽宿と子どもの居場所提供事業」：日本たばこ産業株式会社助成

「子どもの居場所」参加の子ども達が工作、クッキングなどの教室に参加、延べ参加者数は大幅に伸び3139となり、日常的に生活文化を愉しんだ。

ハレの日の舞台公演も助成により内容充実し、地元の参加者も増えて年間受益者数が昨年の2953名から4238名となった。

まとめの小冊子(A4版34ページ)を作成・関係機関に配布。

子どもの居場所提供事業

4月～3月の間、登校日(週日)：15:00～18:00、土曜日及び夏休みの週日：9:00～16:00、野の花館を「子どもの居場所」としてプレイリーダー(主として大学生)をつけて開放、土曜日には文化講座を開催した。

(4)上記助成事業以外に関しては別紙1参照

3.野の花館の会議開催；

(1)総会：第4回特定非営利活動法人野の花館総会 5月11日 14:00～15:30 於 野の花館

出席者14名、書面表決状提出者15名、計29名(運営会員総数35名)

(2)理事会：第4回特定非営利活動法人野の花館理事会 4月26日 19:00～20:30 於 野の花館

出席者10名、書面表決状提出者2名、計12名(理事総数12名)

(3)定例会：毎月1回開催、開催日は前月定例会開催時に決定(議事録作成・配布)

4.主たる他団体開催行事への参加；

(1)12/26・27九州民教研「教育と文化」分科会(於長崎県島原市)；野の花館活動報告

以上

【別紙 1】

平成15年度事業内容一覧

事業の種類	事業内容	実施時期	参加人数等	備考
1.子どものための舞台鑑賞事業	子どものための舞台公演春夏秋冬2003 (1)絵本つみき他 (2)講談「チエルノヴィリの祈り」 (3)趙国良 胡弓コンサート (4)みんなの人形劇場	4月3～4日 7月7日 11月2日 1月12日	82 80 133 110	・野の花館まつり ・平和を考える集い12003 神田香織虫演会 ・子どもの夕べ2003 ・子どものための舞台公演-冬
2.地域文化創造事業 3.地域の文化振興・交流事業	野の花館読書活動2003 (1)子どもの本の集い (2)読み聞かせ活動	6月22日 4月4日～ 2月28日	116 220	・子どもゆめ基金助成
4.生活文化継承事業 5.環境保全・創出事業	新世紀の神楽宿づくり (1)春を食べる会 (2)米づくり(田植、稲刈り) (3)子どもの夕べ2003 いろいろ開き、味噌づくり	4月5日 4月～8月 10月～11月	60 30 80	・日本たばこ産業株助成事業

	(4)正月準備 あそび 赤い羽根共同募金	11月~1月	30	
6.人権・平和に関する事業	(1) 講演「チェルノヴィリの祈り」 (2)土呂久を伝える紙芝居 「十連寺柿」	7月7日 11月2日	84 49	・1.の(2)に同じ ・4.の(3)「子どもの夕べ2003」の中で
7.館整備事業	(1)湯沸し室、収納室整備 (2)屋根修理、床・階段施工	10月 ~3月	54	
8.広報事業	(1)野の花館だよりの発行 (2)ホームページ開設	季刊 3月	2800部	・700部 × 4回

特定非営利活動法人 野の花館 財産目録

(平成16年3月31日現在)

(単位：円)

科 目・摘 要		金 額	
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元許有高	12,915	
	高鍋信用金庫 本店	0	
	九州労働金庫(ろうきん)A	1,791	
	九州労働金庫(ろうきん)B	1,381,818	
	高鍋郵便局	27,500	
定額預金	高鍋郵便局	120,000	
郵便振替		14,000	
未収金	子どもゆめ基金助成金	322,000	
前払金	次年度まつり準備経費	8,164	
流動資産合計			1,888,188
2 固定資産			
固定資産物品	コピー機	69,194	
	テント一式	126,467	
	書架一式	57,950	
	発電機	60,785	
	トラクター耕運機	168,750	
	パソコン	199,631	
権利	電話加入権	74,000	
固定資産合計			756,777
資産合計			2,644,965
負債の部			
1 流動負債			

未払金	JT 報告書印刷代・切手代他	399,614	
前受金	次年度まつり協力券、次年度年会費	144,000	
立替金	木製階段工事費	157,500	
準備金	館改修引当金	700,000	
流動負債合計			1,401,114
2 固定負債			
固定負債合計		0	0
負債合計			1,401,114
差引正味財産			1,243,851

特定非営利活動法人 野の花館 貸借対照表
(平成16年3月31日現在)

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元許有高	12,915	
普通預金	高鍋信用金庫 本店	0	
	九州労働金庫(ろうきん) A	1,791	
	九州労働金庫(ろうきん) B	1,381,818	
	高鍋郵便局	27,500	
定額預金	高鍋郵便局	120,000	
郵便振替		14,000	
未収金	子どもゆめ基金助成金	322,000	
前払金	次年度まつり準備経費	8,164	
流動資産合計			1,888,188
2 固定資産			
固定資産物品	コピー機	69,194	
	テント一式	126,467	
	書架一式	57,950	
	発電機	60,785	
	トラクター耕運機	168,750	
	パソコン	199,631	
権利	電話加入権	74,000	
固定資産合計			756,777
資産合計			2,644,965
負債の部			
1 流動負債			

未払金	JT報告書印刷代・切手代他	399,614		
前受金	次年度まつり協力券、次年度年会費	144,000		
立替金	木製階段工事費	157,500		
準備金	館改修引当金	700,000		
流動負債合計			1,401,114	
2 固定負債				
固定負債合計		0	0	
負債合計				1,401,114
正味財産の部				
1 繰越金残高				
前期繰越金			1,232,107	
次期繰越金			0	
2 その他の正味財産				
当期正味財産増加額(備品増加額)			355,215	
当期正味財産減少額(備品減価償却額)			-343,471	
正味財産合計				1,243,851
負債及び正味財産合計				2,644,965

特定非営利活動法人 野の花館 平成 15 年度収支計算書

(平成 15 年 4 月 1 日から 16 年 3 月 31 日まで)

要 項	予算額	決算額	差 異	備 考
. 収入の部				単位:円
1.会費収入	400,000	402,800	2,800	運営会員 31
2.寄付金	900,000	918,473	18,473	賛助会員 155
3.事業収入	1,550,000	1,197,750	-352,250	賛助会員(団体) 0
4.助成金	3,622,000		-300,000	JT,ゆめ基金(芸文振辞辞退)
JT		3,000,000		
子どもゆめ基金		322,000		
5.雑収入		1,650	1,650	
受取利息		167	149	
当期収入合計 (A)	6,472,000	5,842,840		
前期繰越金	7,173	0		
収入合計 (B)	6,479,173	5,842,840	-636,333	
. 支出の部				
1.事業費				
子どものための舞台鑑賞事業	400,000	350,826	49,174	まつり・冬企画
地域文化振興交流事業	400,000	491,357	-91,357	ゆめ基金
環境保全事業	50,000	49,560	440	
生活文化継承事業	300,000	365,140	-65,140	JT助成
人権・平和に関する事業	100,000	119,174	-19,174	JT助成
館施設づくり事業	1,000,000	739,274	260,726	床張り、階段、台所改修他
他団体との連絡等に関する事業	100,000	124,256	-24,256	広報発行他・リーフレット
青少年育成事業	3,000,000	2,505,937	494,063	JT助成

2.管理費				
人件費	600,000	600,000	0	事務局スタッフ賃金他
借地料	92,000	78,224	13,776	固定資産税分
通信費	50,000	50,748	-748	
旅費交通費	50,000	54,600	-4,600	JT助成
施設維持費	25,000	24,095	905	浄化槽点検・清掃費
水道光熱費	60,000	48,632	11,368	
消耗品費	40,000	40,967	-967	
印刷費	50,000	37,010	12,990	コピー機管理費他
資料費	15,000	10,783	4,217	パソコン JT助成
備品費	15,000	37,590	-22,590	FAX
会議費	25,000	24,000	1,000	
図書費	20,000	6,210	13,790	
保険料	80,000	77,330	2,670	火災保険他
支払手数料	0	4,427	-4,427	
3.予備費	7,173	2,700	4,473	
当期支出合計 (C)	6,479,173	5,842,840	636,333	
当期収支差額 (A) - (C)	7,173	0	7,173	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0		

平成 16 年度事業計画書

1. 事業活動方針

当法人施設「野の花館」を子どもの居場所として開放し、学校休日を中心に文化講座を開催し、地域の教育力を高めると共に自然の中で学び、生活力をつけていく遊び場提供事業は次第に定着しています。自然や古民家そしてプレイリダの若者の存在は、集まってくる大人や子どもの気持を解放し対人関係を学ぶのに成果を上げています。この活動のノウハウを低年齢層に広げ、又町内の子育て支援の情報誌を母親達の視点で創り、子育て支援機関・グループのネットワークを創り合い転勤者や新米両親の助けとする。これらの活動は、自然と歴史を生かした野の花館らしい次世代の育成につながる活動として、独立行政活動法人 福祉医療機構の助成を受けて実施します。

竹林に囲まれた館を中心にしたフリースペースを日常的には子育て支援、季節に1回ハレの日に文化芸術体験の場となる活動を今年も続けます。

2. 事業内容

事業の種類	事業内容	実施時期	備考
1. 子どものための 舞台鑑賞事業	(1) 藤あけみコンサート	(1) 4/3	
2. 地域文化創造事業	(2) 子ども映画会「対馬丸」	(2) 7/16	
3. 地域の文化振興・ 交流事業	(3) 人形劇「セロ引きのゴシュ」	(3) 11/3	
	(4) 谷川賢作・続木カライヴ	(4) 11/23	

4.地域の環境保全・創出に関する事業	(1)竹林保全	(1) 7月	
5.生活文化継承事業	新世紀の神楽宿づくり (1)野の花館まつり(春を食べる会) (2)稲作(田植・稲刈) (3)いろいろびらき みそづくり (4)子どものための舞台公演	(1)4月 (2)8月 (3)10月 (4)11月	
6.人権・平和に関する事業	(1)平和を考える企画 (2)土呂久を伝える企画	(1)7月16日 (2)11月3日	映画「対馬丸」上映会 子どもの夕べ2003
7.野の花館施設づくり事業	竹林、館周辺整備	随時	
8.他団体との連絡等に関する事業	(1)広報・野の花館だより発行 (2)ホームページ更新	(1)季刊	6月・9月・12月・3月発行
9.その他子育て支援事業	(1)子どもの居場所提供事業 (2)親育ち・子育て教室の開催 (3)子育て支援情報誌の発行 (4)支えあう子育て支援活動	4月～3月 5月～2月	野の花館自主事業 独立行政法人福祉医療機構助成

以上